

2021年度 日本ダウン症療育研究会

「赤ちゃん体操指導員養成コース」(講義 WEB 開催)のご案内

1) 出願資格

- ① 日本ダウン症療育研究会会員であること
- ② 医療、教育、福祉などの関連専門職種の有資格者であること
医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、
教員、保育士、心理士、社会福祉士など、その他幹事会が認めたもの

2) 出願手続きと出願期間

* 出願手続きは、以下の所定の出願用紙を用い、郵送で行っていただきます

- ・ 出願用紙：2021年6月15日以降、ホームページお問い合わせフォームよりお申込みしてください
このお申込み期限は 7月15日 です
お申込みされた方に、6月25日から事務局より郵送を開始します
「WEB聴講希望」を明記の上、アンケート項目として「実習希望あり」又は「実習希望無し」をお知らせください
- ・ 出願期間：2021年7月1日～2021年7月25日(消印有効)の間に出願用紙を事務局宛てに郵送してください。

3) 受講者の選考

- ① 出願資格の確認、選考をさせていただきます
実習を希望される方が予定の人数を超えた場合は、所属の現場に赤ちゃん体操導入を予定されている方を優先します。
- ② 応募者の選考結果は、8月中旬に事務局よりご連絡いたします
- ③ 受講者は受講料20,000円を8月31日までに所定の口座に振り込んでください

4) 聴講証明書の発行

各講義内に設定された3～4の質問に対する回答を、すべての講義を聴講後提出してください
赤ちゃん体操資格認定委員会にて確認し習得充分と判断された場合に、聴講証明書を発行いたします

なお、実習をご希望の方には、実習再開の際に「指導員養成コース」の申込書を提出いただきますが、聴講証明書をもって講義単位取得済みとなります。当初実習ご希望と表明頂いた方の受講を優先いたします。「指導員養成コース」における聴講証明書の有効期限は、3年といたします

5) 配信期間

- * 講義を2回に分けて配信いたします(期間中随時視聴可、講義1単位は35分～40分)
- ・ 第1部 2021年10月1日(金)17:00～10月10日(日)22:00
- ・ 第2部 2021年10月15日(金)17:00～10月24日(日)22:00

事務局：近畿大学医学部小児科学教室 篠原 徹

〒589-8511 大阪狭山市大野東377-2

TEL:072-366-0221 内線3535

(医局秘書につながりますのでご用件と連絡先をお伝えください)

追って篠原からご連絡を差し上げます)

ホームページ：<http://plaza.umin.ac.jp/~JSCRD/> (こちらから→)

E-mail：ホームページお問い合わせフォームをご利用ください



日本ダウン症療育研究会「赤ちゃん体操指導員養成コース」プログラム

カリキュラム

*2021年度は、「講義科目」のみWEB配信により実施いたします。

講義科目 (2021年度)	(単位数)
乳幼児の正常運動発達	(1)
ダウン症児運動発達評価法	(3)
ダウン症児の赤ちゃん体操	(3)
赤ちゃん体操演習	(2)
ダウン症児の精神発達・教育	(1)
新生児医療	(2)
ダウン症の合併症 (先天性心疾患)	(1)
ダウン症の合併症 (血液・内分泌)	(1)
ダウン症の合併症 (整形外科)	(1)
カウンセリングの実際	(1)
言語・コミュニケーション	(2)
摂食指導	(1)
成人期のダウン症者	(2)
地域医療	(1)
計 22 単位	
実 習	(単位数)
赤ちゃん体操実習Ⅰ (兵庫県立尼崎総合医療センター)	(2)
赤ちゃん体操実習Ⅱ (近畿大学医学部)	(2)
赤ちゃん体操実習Ⅲ (大阪医科大学)	(2)
赤ちゃん体操実習Ⅳ (東京通信病院)	(2)
赤ちゃん体操実習Ⅴ (金沢医科大学病院)	(2)
赤ちゃん体操実習Ⅵ (おぐちこどもクリニック)	(2)
*赤ちゃん体操統合実習 (兵庫県立尼崎総合医療センター)	(2)
計 8 単位 (*印は必修)	
～同一医療機関での重複履修可～	
合 計	30 単位

「指導員」に関する内規

第3条

受講証の受取者が継続して赤ちゃん体操を実践指導し、本研究会へ3回以上出席した場合、「ダウン症赤ちゃん体操指導員」の認定証を申請することができる

* 認定を希望する時点で事務局に申請用紙を請求する

2021年度 シラバス

講義科目(単位数)	担当者
乳幼児の正常運動発達(1)	大阪医科薬科大学 玉井 浩
健全乳幼児の運動発達を知ることによって、ダウン症児の発達過程を理解することはとても重要です。とくに原始反射の消失時期や運動発達の順番について解説します。	
ダウン症児運動発達評価法(3)	兵庫県立尼崎総合医療センター 西谷・杉村
生後より歩行獲得まで一般乳児の運動発達を観察・分析して得た動きやポーズを4系列(座位、立位、姿勢を変える、腹ばい)9ステップで捉え、ダウン症児が辿るべきステップとした。9ステップの到達標準月齢は、当療育を受けたダウン症児群の平均値をもって表示した。	
ダウン症児の赤ちゃん体操(3)	兵庫県立尼崎総合医療センター 杉村・西谷
運動発達ステップに連動して発達を促す体操プログラムを修得し、関節変形の防止、筋力向上、ならびに粗大運動の正常な発達へ導く力量を養う。また、体操を通して安定した親子関係への配慮を学ぶ。	
赤ちゃん体操演習(2)	兵庫県立尼崎総合医療センター 福岡希代子
運動発達のステップを正しく評価し、体操プログラムを十分に理解したうえで、個々の体操レシピを作成する際の留意点について、いくつかの具体的な症例をもとに検討する。	
ダウン症児の精神発達・教育(1)	大阪医科薬科大学 鮫島希代子
ダウン症児の精神発達につき学ぶ。知的障害に加え、自閉傾向を伴うことも少なくない。すべての問題を知的障害のみに原因を負わせるのではなく、特徴、性質を理解し、児に応じた指導および教育方法を考慮する。	
新生児医療(2)	奈良県立医科大学 西久保敏也
新生児期のダウン症児への対応について； 新生児期のダウン症児の合併症と出生後のご両親に対する告知(染色体異常の成因を含めて)について学ぶ	
ダウン症の合併症(先天性心疾患)(1)	近畿大学医学部小児科 篠原 徹
ダウン症の50%に心疾患を合併する。体操を実施するにあたり心疾患合併児をさけてとおることは出来ない。心臓の解剖および生理を理解するとともに、ダウン症に合併しやすい心疾患を知り、そのような児が体操を実施するにあたっての注意点について学ぶ。	
ダウン症の合併症(血液・内分泌)(1)	大阪医科薬科大学 黒柳裕一
ダウン症児は、甲状腺機能低下症や一過性骨髄異常増殖症などの血液・内分泌疾患を合併することがある。そのようなダウン症にみられやすい合併症について解説する。	
ダウン症の合併症(整形外科)(1)	大阪市立大学大学院医学研究科 中川敬介
ダウン症児の足、関節の特徴をつかむ。低緊張のため外反扁平足を認め、運動発達の遅れが見られることがあるが、個人差に応じた運動、装具療法を促す必要がある。また、約10~20%が環軸椎不安定を合併し、約1~2%に脊髄圧迫症状、脊髄損傷のリスクがある。そのスクリーニング法、リスク管理について学ぶ。	
カウンセリングの実際(1)	大阪医科薬科大学 鮫島希代子
ご家族となぜ?どうして?を共有する。親子で楽しむふれあいケアのダウン症児の赤ちゃん体操は、子どもの強さを経験でき、肯定的な家族の経験につながると考える。	
言語・コミュニケーション(2)	大阪医科薬科大学LDセンター 中島順子
問題点とコミュニケーションの意欲を育むかわり方について	
摂食指導(1)	兵庫県立尼崎総合医療センター 浅野奈穂子
乳幼児期の摂食嚥下機能の発達について説明をした後に、発達段階ごとに見られる問題への対応や家族支援についてのお話をします。	
成人期のダウン症者(2)	兵庫県立こども発達支援センター 野中路子
成人期でのダウン症者の特徴を、身体面、知的・精神発達面で解説する。種々の内分泌的、眼科的、耳鼻咽喉科的、整形外科的合併症は小児期から成人期にまで持ち越すため、健康管理がより重要であり、老化・退行に対する予防策を講じる必要がある。	
地域医療(1)	医療法人社団高原クリニック 高原周治
地域の診療所で関わっているダウン症児の事例検討を行い、現状の問題点と早期介入の効果を考察する。また、当院で開設している児童発達支援、放課後デイサービス、病児保育の現状について紹介する。合わせて、利用可能な療育、福祉サービスについても述べる。	

日本ダウン症療育研究会認定「赤ちゃん体操指導員」養成について

～講義の Web 開催へのプログラム変更ほか～

赤ちゃん体操資格認定委員会 委員長

東京逡信病院小児科 小野 正恵

2020年の年初から始まった新型コロナウイルスとの闘いは、まだまだ先が見えず、あらゆる分野のあらゆる年代の方が苦勞されていることと思います。中には身近な方がウイルスに牙をむかれ、無常を感じておられるかもしれません。心よりお見舞い申し上げます。

藤田弘子先生を中心に考案された「ダウン症児の赤ちゃん体操」は、1976年に旧兵庫県立塚口病院に指導の場が開設されたのち、全国に広がってきました。この療育法には単なる技法だけでなく、親子に対する藤田先生の熱く優しいまなざしが込められています。ご家族がこの実践法を正しく理解し、日々実践することで効果を発揮します。

この実践法の普及のために、当研究会では2006年度以降毎年「赤ちゃん体操指導員養成コース」を開設してきました。ご家族の思いに寄り添いながら、ご家族によく理解していただけるよう、指導員が親身のお手伝いをいたします。体操を通して、ご家族は毎日赤ちゃんと深く触れ合い、家族の絆を固くされることと思います。

本養成コースは、ダウン症候群に関する知識や理論、情報を専門家から学ぶ講義と、実際のダウン症のお子さんを前にした実習の2部門から成り立っていますが、今般のコロナ感染状況やワクチン実施状況を鑑み、今年度は実習を延期、講義のみを Web 開催させて戴くことと致しました。

そのため、できるだけ同一年内に講義と実習を受けるとする原則が守れませんので、近い将来に実習が可能となることを期待して、3年以内に実習を受けていただければよいことと致します。また、当面指導員として活動する予定がなく、講義の聴講のみを希望される場合も受講可能です。

研究会としては、できるだけ多くの方に指導員になっていただき、全国のダウン症のお子さんのお役に立てることを願っています。今後実習が可能になりましたら、迅速に再開したいと思っていますので、講義聴講の上、もうしばらくお待ちください。